イラスト　江津組　正福寺　三浦志保子 様

第 25 号

山陰教区
寺族婦人会連盟

題字：鷺谷良子

恵信尼公７５０回忌法要修行

令和４年12月２日（金）、本願寺山陰教堂本堂・教化センター研修室において、寺族婦人研修会を開催し、併せて恵信尼公７５０回忌法要を修行しました。

恵信尼様は、１１８２（寿永元）年にご誕生され、親鸞聖人の妻として、家庭生活を通して、お念仏に生きるありがたさを私たちにお示しくださいました。そのご様子は、恵信尼様のお手紙『恵信尼消息』からも伺うことができ、厳しい現実社会と向き合いながら、親鸞聖人と共に誰にでも分け隔てなく尽くされました。そして、１２６８（文永５）年に87歳でご往生されたといわれています。

法要では、佐々木了慎教務所長が表白（全文記載）を拝読し、参加された皆様と正信念仏偈をお勤めしました。その後、「恵信尼さまを偲んで」と題し、榮俊英師（安芸教区教務所長・本願寺広島別院輪番、飯南組 西雲寺住職）より講話をいただきました。

法要、研修会を通して、恵信尼様を偲ぶとともに、お念仏と共に生き抜かれたご生涯、思いについて改めて学ぶことができました。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により度々延期としておりましたが、多くの寺族婦人会会員の皆様の思いを受け、このたび念願の開催となりました。また、はじめてオンラインを併用したことで遠方の方にも参加いただくことができ、今後につながる研修会となりました。

恵信尼公七百五十回忌法要
表白

敬って
大慈大悲の阿弥陀如来の御前に
申し上げます
本日ここに 恭しく尊前を荘厳し
有縁の方々と共に
懇ろに聖教を拝読して
恵信尼公七百五十回忌法要を
お勤めいたします

謹んで思いますに
宗祖聖人は そのご生涯を通じて
真実のみ教えを明らかにされ
出家と在家の区別なく
すべてのものが救われる道を
お示しになられました

顧みますと 恵信尼公は
寿永元年 一一八二年に
ご誕生になりました
承元の法難で
越後に流罪となった親鸞聖人と
家庭生活を営まれ 赦免の後は
ご家族とご一緒に
関東の地に移られました

以来 およそ二十年の間
親鸞聖人の伝道を支えられ
また自らもご教化を担われ
念仏者の育成に力を注がれました

晩年は 越後に帰られ
文永五年 一二六八年
御年八十七歳
三月十二日のお手紙を最後として
ほどなく 往生の素懐を
遂げられました

まことに 宗祖聖人とともに
本願念仏の道を歩まれ
親しくご覧になった聖人のお姿と
その み教えを今に伝えてくださった
ご恩は 大きなものであります

願わくは
この法縁に遇えた私たちは
恵信尼公のご遺徳を偲び
そのご苦労に思いをいたし
ともに手をとって
いよいよ浄土真宗のみ教えが
広まるよう
聞法伝道に精進いたしますこと
敬って申し上げます

若寺族婦人研修会
日時：10月1日（土）
会場：島根県立男女共同参画センター　あすてらす（大田市）

若寺族婦人研修会に参加して

出雲組　源光寺　西谷　蘭

今回、山陰教区若寺族婦人研修会に初めて参加させていただきました。

私が特に心に残っているのは、参加された皆様との会話の中で生まれた「坊守は住職と門徒の方々との架け橋になる」という言葉でした。

午前の部は少人数のグループに分かれ自由に話をしました。いろいろな話をしていくにつれ、共通の悩みがあることに気がつきました。それは、ご門徒のみなさんとお寺との距離をどうしたら縮められるのか、ということでした。近年、コロナ禍ということもあり、お寺での行事ができなかったり、制限のある中での開催であったりしたため、ご門徒のみなさんに顔を会わせる機会自体が減っています。どんなことができるのか、実際にやっていらっしゃることを含め、みなさんの話を伺いました。きっかけを作るため、夏休み限定でラジオ体操を行ったり、バザーを開いたり、初盆の方だけでなくお盆は全てのご門徒さんの家へお参りに行ったりするなど、それぞれのお寺がさまざまなことを独自に考え、実行していらっしゃることを知りました。

また、改めてお寺は住職だけでなく、坊守の存在が大切だということにも気付くことができました。坊守がご門徒さんの身近な存在となることでお寺に来てくださるきっかけの一つになり、住職とご門徒のみなさんとの架け橋となるような存在になれるのではないかと思いました。私自身も若坊守として、ご門徒さんとのコミュニケーションを大切にし、現住職、現坊守から少しずつ教えていただきながら、未来の住職の支えとなれるように頑張ります。

午後は、岡崎秀麿先生から「浄土真宗のみ教えとＳＤＧｓ」についてお話をいただきました。近年よく耳にしていた言葉ではありましたが、未来の地球のために何をしなければならないのかわからない、と重たい気持ちになっていました。しかし先生は「すべての人がすでに地球のためにやっていることがある」と仰いました。リサイクルや省エネ、物を大事に使っていくこと、食材を無駄にしないことなど。確かに、今自分が実践していることがありました。今していることを継続し、それに加えて少しできることを考えていくこと、その姿を子どもたちに見せ、一緒に実行していくことが子どもたちの未来に繋がっていくのではないかと感じました。

最後に、今回の学びの機会を作ってくださった寺族婦人会連盟の役員のみなさん、ありがとうございました。

山陰教堂に幔幕を寄贈しました

令和４年10月３日、出雲市民会館において「山陰教区・本願寺山陰教堂親鸞聖人御誕生８５０年・立教開宗８００年慶讃法要」が修行され、当連盟西谷京子委員長（出雲組 源光寺）が総合司会を務めました。

また、法要にあわせ、寺族婦人会連盟より仏教婦人会連盟と合同で、教堂玄関の幕を寄贈いたしました。

2022（令和4）年度
ダーナ献金のご報告

ダーナ献金をお寄せいただいた皆様

松江組寺族婦人会連盟 様
出雲南組寺族婦人会連盟 様
大田中組寺族婦人会連盟 様
佐波組寺族婦人会連盟 様
川本組寺族婦人会連盟 様
邑智東組寺族婦人会連盟 様
江津組寺族婦人会連盟 様
浜田組寺族婦人会連盟 様
寺族婦人研修会参加者の皆様

より合計98,914円をお預かりしました。

災害発生時等の際に様々な形で支援できる資金として、今後も皆様のご協力をお願いいたします。

恵信尼様を偲んで

浜田組　光西寺　緇川杏美（くろかわあずみ）

12月2日、コロナ禍で三度延期となった恵信尼様の750回忌法要と寺族婦人研修会に、山陰教堂にて参加させていただきました。リモート参加も可能であり、教務所・役員の皆様のお心遣いを感じ、「参加できてよかった」というよりも「ありがたい事だな」という思いで、ご縁に出遇わせていただきました。

また、ご講義くださった榮俊英先生のお手製の資料は、とても分かりやすく、ユーモアもあり、「恵信尼様のこと、実際よく知らないな」と思っていた私にとっても、スーッと染み入るような不思議な温かさがある内容でした。「何度も加筆をして、ボリュームある資料になりました」と笑いも交えて、研修会にあたっての思いもお話くださいました。

「恵信尼消息」という、娘・覚信尼様へ宛てたお手紙をもとに、親鸞聖人と恵信尼様のお互いを尊敬し、手を合わせる姿を学ばせていただきました。驚くことも多々ありましたが、榮先生の「社会的倫理・道徳は時代によって変化する」という指摘を大切に、学びを進めていきますと、残るものは「支えられて共に生きる世界」という阿弥陀様のお慈悲であったと感じています。

争いや貧困が厳しい時代、妻として、母として懸命に過ごされ、72歳頃から移られた越後では飢饉の中、ご自身の衣類と食料を交換し、人の為に行動されていたようです。87歳の頃には、衰えを感じるなか、京都の家族の様子を聞きたいと筆を走らせる姿は、自分の母を想像してしまいウルっときてしまいました。

親鸞聖人や恵信尼様ご自身が、そして周りがどんな状況であっても、南無阿弥陀仏を支えにされ、自分の善悪ではなく、阿弥陀様の願いをそのまま受け入れ、生き抜かれたのだなと思いますと、私たちもそのお姿を偲ぶだけではなく、ともに生きる日々を過ごさせていただくことが、「支えられて共に生きる世界」なのではないかなと感じました。

「親鸞聖人、恵信尼様は、離れていても心は繋がっていた。同じように、お二人とは時代も場所も離れているけれども、空はつながっている」との榮先生の言葉がありました。同じ空の下、たくさんの皆様と支えあっているんだなぁと思うと、益々、この度の研修会が心温まるご縁であったと感じています。

ちょっと紹介　お寺の活動

日本語ボランティア教室

佐波組　浄土寺　西原華林（にしはらかりん）

毎週月曜日の夜7時半から、庫裏で日本語ボランティア教室をしています。日本語ボランティアとは、日本語を学びたい近隣に住む外国人の住民支援の一つです。日本語を教えるのではなく、日本語の学習を支援するわけですから、日本語教師の資格も必要ありませんし、日本語での会話の相手をするので、外国語ができなくても座っているだけで支援ができます。お寺に集まってくる人々が、老いも若きも男も女もその他でも、国籍も見た目も関係なく集まっています。私も結婚して移住してきたようなものですから、異国からきたお嫁さんたちと共感したり孤独を分かち合ったりすることもあります。日本語能力試験という、英検のような試験を受験する人も多いのですが、試験が近づくと「勉強したいので休みます。」と連絡がくるほど、和気あいあいとにぎやかに異文化交流をして終わる日本語教室です。

各組紹介

鳥取・島根の両県にまたがる山陰教区は東西に広く、離れた組の活動についてなかなか知る機会もなく、また観光地や特産物についても、あまり知らない方もいらっしゃるかと思います。

そこで、今号より５組ずつ、全20組の寺族婦人会の活動や地域の紹介をいたします。今後の寺族婦人会の活動に、また、近くを通ったときに立ち寄れる場所はないのかなど、少しでも参考になればと思います！

松江組（蓮教寺 釋臣（ときお） かおり）

私たちは、松江・安来・奥出雲・隠岐という広範囲で１つの組です。各寺院の距離はあれど、心の距離は近くにと、役員を中心に連絡を取り合いながら地道に活動を続けています。主な活動は、総会・お食事会を年１～２回、組外講師を招いての勉強会（歎異抄や正信偈和讃などを味わう）を数回、賦課金の組内全か寺前期完納に向けての声掛け（各寺へ葉書を送付）等。

活動のたびに、山陰教堂のお膝元の組としてありがたく教化センターをお借りして、皆でお参りをしています。

鳥取因幡組

（浄徳寺 吉岡真紀（よしおかまき））

山陰教区の一番東の組。18か寺が八頭、旧市内、気高の3ブロックに分かれていますが、市内に集まって活動しております。

研修会（時には遠方に出かけ現地研修会）や親睦会はもちろん、近年は仏教婦人会総会で発表できるようにとコーラスの練習も始めていたところです。

いろいろな課題も出てきていますが、活性化に努めたいと協力していくことを目指しております。

邑智東組（明覚寺 奥田美紀（おくだみき））

私たちの組は、邑南町の瑞穂地域１２か寺で構成され、代表は、高原・田所・出羽地区の持ち回りで選出されます。主な活動は、研修会のほか、「子どもたちの笑顔のために募金」へ自動献金できる邑智東組モシモシ法話等も勤めています。

また、道の駅瑞穂にある「産直市みずほ」には、地元の新鮮野菜やきのこ、山菜等があり、大勢の方が訪れます。他にも、国定史跡の久喜銀山、戦国時代の二ツ山城址、高海自治会の化石発掘や、特別天然記念物のオオサンショウウオに会える「瑞穂ハンザケ自然館」も人気があります。

大田東組（浄教寺 熊野順子）

私たちの会は、年２回の研修会と、年１回年末に高齢者施設の仏具磨きが主な活動です。研修会は、当番会処のご住職による特色ある勉強会に続き、坊守同士でなければ聞けないことなどを話し合う有意義な会です。また、会に合わせてフードバンク活動にも協力させていただいております。

大田東組の地元は、海あり山あり温泉ありの風光明媚な所です。新鮮な魚介やこだわりの蕎麦など美味しい食べ物もたくさんあります。また、雄大な三瓶山を眺めながらカフェメニューをテラスでいただくこともでき、他にも子供たちに大人気の「三瓶自然館サヒメル」など見所満載です。

皆さん、温泉につかりながら「よし！明日からまたがんばろー！」」とリフレッシュしましょう。

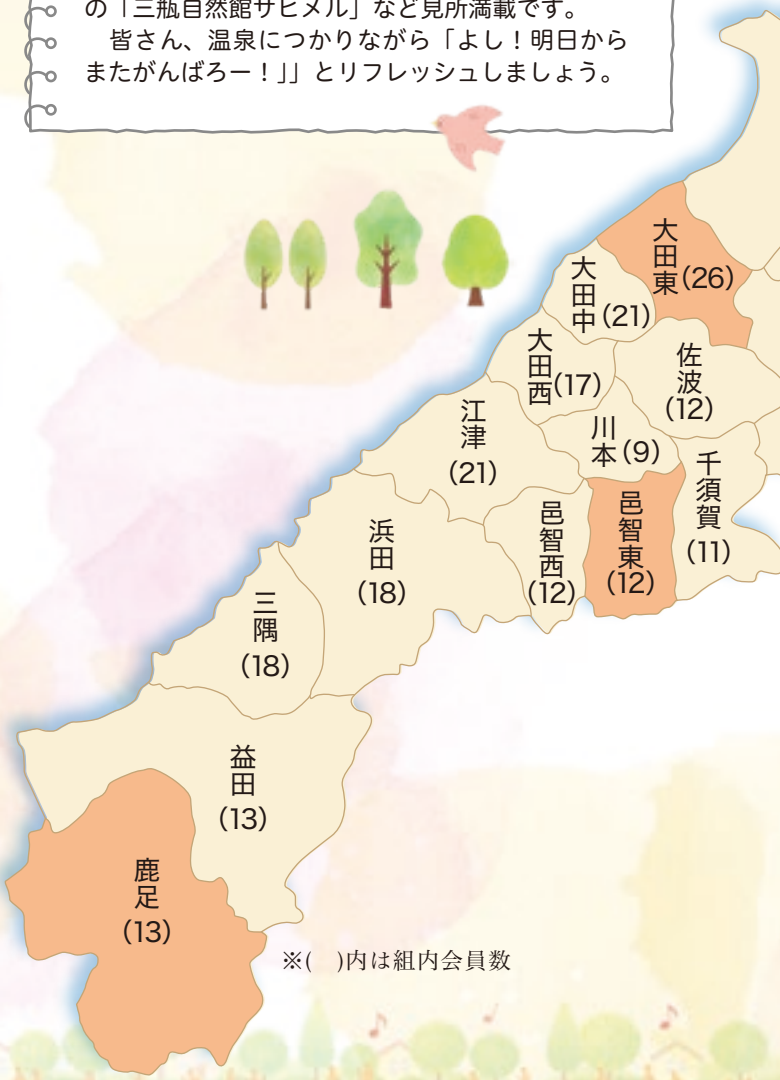
鹿足組（浄念寺 陶山法恵）

鹿足組は山陰の一番西部に位置しており、広範囲のため組内の端から端までは車で１時間半を要します。

主な活動は年４回の研修会と総会です。会所は持ち回りで、ご講師は組内のご住職に依頼し、現在は「七高僧の選定」についてご教示いただいております。日常に聖典を開いての勉学はできませんが、研修会が終わった日には、自坊で聖典を開き、忘れないうちにチェックをなさる方も多くいらっしゃいます。

コロナ禍で自粛中は個々で自習し、「書いて作る勤行聖典正信偈」「いのちの荘厳仏華」の二冊を教材としてそれぞれお味わいを深める形としました。

昨年10月から七高僧についての研修会を再開し、参加された方より、「少人数でも会って顔を見て話ができる大切さに気付かされました」との声もありました。仏縁で結ばれた大切な会です。



※(　)内は組内会員数

2021（令和3）年度 山陰教区寺族婦人会連盟 一般会計 歳計決算

歳入の部

款	項	費　目	決算額	予算額	対比△減	説　　明
1	1	前年度繰越金	367,321	350,000	17,321	令和2年度繰越金
2		会費	457,500	471,000	△ 13,500	
	1	本年度会費	457,500	471,000	△ 13,500	1,500円×305単位分
	2	過年度会費	0	0	0	
3	1	助成金	150,000	200,000	△ 50,000	教区からの助成金
4	1	回金	0	0	0	特別会計より回金
5	1	参加費	0	150,000	△ 150,000	研修会参加費 ※中止
6	1	雑収入	4	9,000	△ 8,996	預金利息
		合計	974,825	1,180,000	△ 205,175	

歳出の部

款	項	費　目	決算額	予算額	対比※超過	説　　明
1	1	研修費	0	400,000	400,000	研修会経費　※中止
2	1	会議費	272,640	350,000	77,360	各組代表者会・常任委員会・監査
3	1	事務通信費	12,648	50,000	37,352	郵券料
4	1	教化費	99,000	90,000	※ 9,000	寺婦のひろば第24号発行
5	1	回金	30,000	30,000	0	特別会計 第2款へ回金
6	1	諸費	5,000	40,000	35,000	寺婦のひろば寄稿謝礼
7	1	予備費	0	220,000	220,000	
		合計	419,288	1,180,000	760,712	

歳　入	974,825
歳　出	419,288
差引残額	555,537

※翌年度へ繰越

2021（令和3）年度 山陰教区寺族婦人会連盟 特別会計 歳計決算

歳入の部

款	費　目	決算額	予算額	対比△減	説　　明
1	前年度繰越金	443,763	440,000	3,763	令和2年度繰越金
2	回金	30,000	30,000	0	一般会計 第5款1項より回金
3	雑収入	4	1,000	△ 996	預金利息
	合計	473,767	471,000	2,767	

歳出の部

款	費　目	決算額	予算額	対比※超過	説　　明
1	回金	0	0	0	
2	翌年度繰越金	473,767	471,000	※ 2,767	令和4年度繰越金
	合計	473,767	471,000	※ 2,767	

2021（令和3）年度 山陰教区寺族婦人会連盟 ダーナ会計 歳計決算

歳入の部　※2020（令和２）年度開設。ダーナ活動を行うための基金

款	費目	決算額	予算額	対比△減	説　　明
1	前年度繰越金	38,000	21,000		令和2年度繰越金
2	ダーナ献金	19,281	50,000	△ 30,719	各組寺婦等よりの献金（3組）
3	回金	0	0	0	一般会計より回金
4	雑収入	0	1,000	△ 1,000	
	合計	57,281	72,000	△ 14,719	

歳出の部

款	費目	決算額	予算額	対比※超過	説　　明
1	ダーナ活動費	40,000	50,000	10,000	令和3年7･8月 豪雨教区義援金 山陰教区20,000円 佐賀教区20,000円
2	翌年度繰越金	17,281	22,000	4,719	令和4年度繰越金
	合計	57,281	72,000	14,719	

※残金は基金として翌年度へ繰越

2022（令和4）年度 山陰教区寺族婦人会連盟 一般会計 歳計予算

歳入の部

款	項	費　目	2022年度予算	2021年度予算	対比△減	説　　明
1	1	前年度繰越金	555,537	350,000	205,537	令和3年度繰越金
2		会費	457,500	471,000	△ 13,500	
	1	本年度	457,500	471,000	△ 13,500	1,500円×305単位分
	2	過年度	0	0	0	過年度会費
3	1	助成金	200,000	200,000	0	教区からの助成金
4	1	回金	0	0	0	特別会計よりの回金
5	1	参加費	100,000	150,000	△ 50,000	研修会参加費
6	1	雑収入	6,963	9,000	△ 2,037	預金利息等
		合計	1,320,000	1,180,000	140,000	

歳出の部

款	項	費　目	2022年度予算	2021年度予算	対比△減	説　　明
1	1	研修費	400,000	400,000	0	研修会経費
2	1	会議費	350,000	350,000	0	各組代表者会・常任委員会・編集委員会など
3	1	事務通信費	50,000	50,000	0	郵券料・事務消耗品
4	1	教化費	110,000	90,000	20,000	寺婦のひろば調製
5	1	回金	50,000	30,000	20,000	特別会計への回金（積立分）
6	1	諸費	100,000	40,000	60,000	諸費、山陰教区慶讃法要協賛金
7	1	予備費	260,000	220,000	40,000	
		合計	1,320,000	1,180,000	140,000	

2022（令和4）年度 山陰教区寺族婦人会連盟 特別会計 歳計予算

歳入の部

款	費目	2022年度予算	2021年度予算	対比△減	説　　明
1	前年度繰越金	473,767	440,000	33,767	令和3年度繰越金
2	回金	50,000	30,000	20,000	一般会計からの回金
3	雑収入	233	1,000	△ 767	預金利息等
	合計	524,000	471,000	53,000	

歳出の部

款	費目	2022年度予算	2021年度予算	対比△減	説　　明
1	回金	0	0	0	
2	翌年度繰越金	524,000	471,000	53,000	令和5年度繰越金
	合計	524,000	471,000	53,000	

2022（令和4）年度 山陰教区寺族婦人会連盟 ダーナ会計 歳計予算

歳入の部

款	費目	2022年度予算	2021年度予算	対比△減	説　　明
1	前年度繰越金	17,281	21,000	△ 3,719	令和3年度繰越金
2	ダーナ献金	50,000	50,000	0	ダーナ献金
3	回金	0	0	0	一般会計よりの回金
4	雑収入	2,719	1,000	1,719	預金利息等
	合計	70,000	72,000	△ 2,000	

歳出の部

款	費目	2022年度予算	2021年度予算	対比△減	説　　明
1	ダーナ活動費	50,000	50,000	0	災害支援活動等
2	翌年度繰越金	20,000	22,000	△ 2,000	令和5年度繰越金
	合計	70,000	72,000	△ 2,000	

編集後記

○「寺婦のひろば」第25号をお届けします。過去、疫病の影響で混乱を招いた社会が通常を取り戻すまで、約3年かかったと聞いたことがあります。今回のコロナで全国に緊急事態宣言が発令されて約3年。様々な機能が少しずつ動き始めたように感じます。

○令和4年度は、感染対策に努めながら若寺婦研修会が開催され、また寺婦研修会はオンライン参加という形も取りながら無事に開催されました。コロナだけでなく、距離的に難しいという方々もオンラインならと参加者や参加地域が増えた事は、大変嬉しい事でした。

○様々な事が制限される中、それ故にオンラインという形がより進んだように思います。コロナの影響で辛く寂しい思いもしましたが、このような新しい形で皆さまと一緒に研修会や会議でお会いできたことは、何よりのことでした。今後は対面でのお出会いも増えて両面を使い分けるようになると、コロナ以前より幅の広がった活動ができるのではないかと思います。

○記事、紙面にご意見ご要望ありましたら、教区事務局までお聞かせください。